

〈設計コンセプト〉

新施設は、茶の湯文化が隆盛した堺らしい、落ち着いた格調高いたたずまいが木々の緑と調和した憩いとやすらぎの空間を実現しています。建物の一部は周辺の緑と呼応するように利休の茶の湯を思い起こす色彩「利休鼠」が彩りを添えています。また、建物の廻りを囲む水盤は、450年前、自由・自治都市として名を馳せた中世の環濠都市・堺をイメージしました。

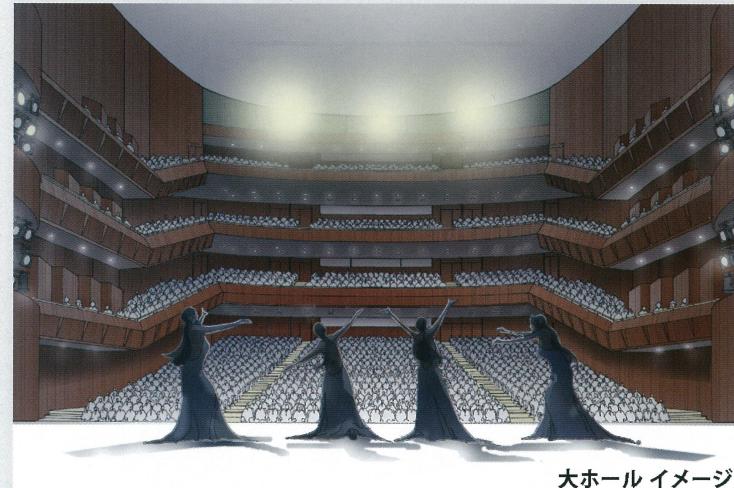
新施設の東面は、全面ガラス張りのシンボリックなデザインで、内部のホワイエやロビー、交流・創作ガレリアでの人々の交流や活動が賑わいとなって溢れ出し周辺の人々の目を引き付けます。この印象的な光景を見た人々は、新たな施設への高揚感を募らせることでしょう。また、各所に配したもう一つのテーマ色は、中世の海外交易を象徴する「朱印船の赤」をイメージさせ、人々の交流や活動が生み出す温かみと情熱を表現しています。

施設全体は、非日常空間で風格のある大ホールゾーンと市民の身近な交流や創作の場・小ホールを含むガレリアゾーンが隣り合い、機能的に分かり易い配置となっています。この2つのゾーンの融合が、新施設を訪れる多くの人々に豊かな体験や素晴らしい感動をもたらすことを期待しています。



〈大ホール〉

音楽系を中心に、クラシック、オペラ、バレエ、演劇、ポップス等優れた舞台芸術や多彩な公演をはじめ、大会や集会等にも対応可能な多目的ホール



●舞台まわり

- ・主舞台・袖舞台は、多様な演出に十分に応えることができる広さを確保
- ・客席ワゴン形式のオーケストラピットを設置

●音響環境

- ・ホール自体が「よく響く楽器」のような劇場空間を実現

●客席

- ・3層バルコニー構造を採用し、どの席からも舞台が見やすく快適な環境を確保
- ・車いす席や親子室を常設

	旧市民会館	新施設
客席	1,395席	2,000席程度
舞台	間口21.0m×奥行14.5m ×高さ9.0m	間口18.0m×奥行24.0m ×高さ9.0~12.6m (プロセニアム形式) *リア・ヴィエタヨンスペース有
トイレ	男性用 個室8、小19 女性用 個室16 多目的トイレ 1	男性用 個室13、小53 女性用 個室78 多目的トイレ 8

〈計画概要〉

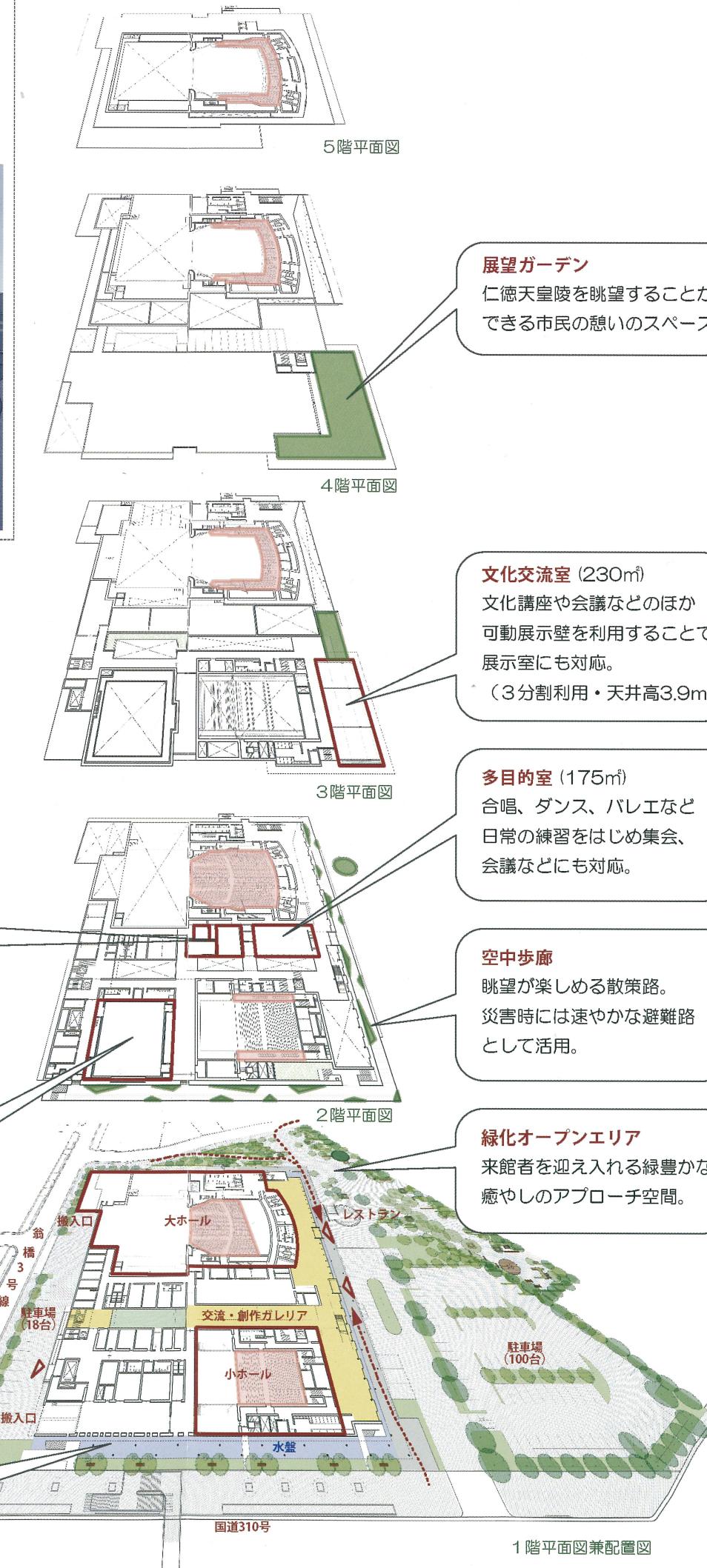
- ・建設場所
：堺市堺区翁橋町二丁地内
- ・敷地面積： 14,823 m²
- ・建築面積： 約7,700 m²
- ・延床面積： 約19,700 m²
- ・構造：鉄筋コンクリート造
- ・階数：地下1階、地上6階

小スタジオ (25、40、75m²)
大きさの異なる3部屋を整備し、規模に応じてピアノや軽音楽、コーラスなどの日常の練習に対応。

大スタジオ (300m²)
大ホール主舞台の広さを確保し、リハーサルをはじめオーケストラや吹奏楽、演劇など多人数による練習に対応。第三のホールとして発表会にも対応。

水盤（カスケード）

450年前の自由・自治都市であった堺の環濠都市をイメージ。



〈小ホール〉

音楽を主体としつつ、演劇など市民の多様な文化芸術の発表や集会などにも対応可能な多目的ホール



●舞台まわり

- ・袖幕や東西幕が設置でき、演劇や伝統芸能にも対応可能
- 音響環境

可動間仕切方式の側壁音響反射板を設け、豊かな響きの空間を実現

●客席

- ・固定席のほかサイドバルコニー席を設置し、舞台から客席までの距離を押さえることで、演者と観客が一体となった見やすい環境を確保

	旧市民会館	新施設
客席	256席	300席程度
舞台	間口12.0m×奥行4.5m ×高さ4.5m	間口12.6m×奥行9.9m ×高さ7.2~9.0m (ワンボックスタイプ)

〈交流・創作ガレリア〉

- 大ホールや小ホールなどの各施設機能を結ぶ市民交流の場
- 3層吹抜空間の両側面に長大な壁を備え、ミニコンサート、パフォーマンス、作品展示等、市民文化活動の発表の場



〈整備スケジュール〉

実施設計 H26.10~	建設工事 H27秋着工~	開館準備 6ヶ月	開館 H30秋
-----------------	-----------------	-------------	------------

※今後の実施設計により諸室の面積や配置等が変わることがあります。